

学校教育目標

—— みがきあい 真剣に生きる ——
「時・礼・整・感」と「和顔愛語」の実践

活動方針

- (1) 学年を超えた豊かな人間性と社会性の向上、生涯にわたり親しむための基礎を作るとともに、健康の保持増進、心身の生きがいの場とする。
- (2) 自主・自立の精神で、目標達成に向けた努力や仲間と協力し合い友情を深める場とする。

①学校教育の一環としての部活動

- (1) 部の設置
 - ア・本校教育推進の一助として部を設置する。(別紙1)
 - イ・部活動の意義に立ち、本人と保護者、家族の理解の協力の下、生徒の自主的な活動を尊重した部活動運営を行う。
- (2) 部活動方針の策定等
 - ア・学校長は、年度当初に活動方針を策定し、HP等へ掲載し、公表する。
 - イ・部顧問は、活動年計画や実績報告書を作成し、学校長に提出する。
- (3) 教職員共通理解と生徒・保護者・地域への周知
 - ア・教職員全員で共通理解を行い、意見・交換を継続し指導方法等の改善に努める。
 - イ・生徒・保護者・地域への説明責任を果たす。

②部活動を支える環境整備

- (1) 指導体制
 - 複数配置を進める。また、専門性を有した外部指導者や部活指導員の効果的な活用を進める。
- (2) 各部の現状や課題を共有し、学校全体で課題解決に向けた取組を進める。

③発達段階に応じた望ましい指導

- (1) 休養日の設定
 - 1週間の内、土・日のどちらか1日と平日1日を設ける。
- (2) 活動時間
 - 平日2時間程度 休業日3時間程度
- (3) 指導方法
 - 顧問は、指導部活動の経験有無にかかわらず、「効果的指導」等の研修を深め、自覚を持ち指導力向上に努める。
- (4) 体罰・不祥事等の防止
 - ア・体罰やセクシャル・ハラスメント等は絶対に起こさない。
 - イ・活動経費等は、保護者負担に配慮し、保護者の理解を得る。
- (5) 安全管理と事故防止
 - ア・最善の事故防止に努め、事故発生時は、人命を第一に考え、適切に対応する。
 - イ・施設・設備・用具は定期的に点検し補修等を行う。
 - ウ・環境条件(気温・湿度・急激な天候変化等)に応じた適切な指導に努める。

評価と改善

- 各部個々の年間活動計画書を作成し目標を立て、活動方針など生徒と保護者への説明に努める。
- 各部個々の活動実績報告書を作成し、部活動指導のPDCAに努める。

※和歌山県運動部活動指針・和歌山市部活動指針に基づく。